

Cisco CallManager のアップグレード： 加入者データベースの複製のエラー

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco CallManager のアップグレード エラー](#)

[解決策](#)

[サブスクリバ サーバを Cisco CallManager クラスタから削除する](#)

[サブスクリバ サーバを Cisco CallManager から削除する](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco CallManager のアップグレードを試みているときに、「Failed to connect to database error message」が表示されます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Unified CallManager 4.x

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified CallManager 4.x

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco CallManager のアップグレード エラー

Cisco Unified CallManager のデータベース レプリケーション検証では、パブリッシャ データベース サーバ、およびデータベース レプリケーション用に設定されたサブスクリバ サーバがアップグレードの前に存在していることがチェックされるため、パブリッシャに追加されたサブスクリバのいずれかが到達可能でない場合、レプリケーション検証で「failed to connect database error」というエラー メッセージを返します。

Cisco Unified Communications Manager Upgrade Utility は、Cisco Unified Communications Manager へのアップグレードを実行する前に、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内の各サーバの正常性を検出する、サーバに影響を与えないツールです。このユーティリティでは、クラスタにあるすべてのサブスクリバ サーバのデータベース レプリケーションのステータスを確認します。このユーティリティでは、データベースにシステムに関する最新情報が含まれていることも検証します。検証結果には、Running (実行中)、Idle (アイドル状態)、Failed (失敗)、または Succeeded (成功) があります。

解決策

この状況は、クラスタをアップグレードする前に、クラスタに追加されたサブスクリバが到達不可能な場合、または正しく削除されていない場合に発生します。このため、解決策として、サブスクリバ サーバを到達可能にするために適切なゲートウェイを追加するか、または以下に説明する手順でサブスクリバ サーバをクラスタから正しく削除します。

サブスクリバ サーバを Cisco CallManager クラスタから削除する

サブスクリバに対して次の手順を実行します。

1. 該当の Cisco CallManager を更新して別のサーバに割り当てるか、またはそのサーバに割り当てられている Cisco CallManager を CallManager サーバの [Administration] ページで削除します。
2. 削除するサーバを使用している会議ブリッジ、MTP、および MOH サーバを削除し、そのサーバ上で実行されている各サービスを非アクティブにします。

サブスクリバ サーバを Cisco CallManager から削除する

サブスクリバ サーバを Cisco CallManager クラスタから削除する場合、Cisco CallManager Administration の [Server Configuration] ウィンドウを使用します。この削除によってサブスクリバ サーバが Cisco CallManager Administration データベースから削除されますが、そのサーバの依存関係すべてが削除されるわけではありません。特定の Cisco CallManager がインストールされて実行されているサーバは削除できません。このサーバを使用している Cisco CallManager を確認するには、[Server Configuration] ウィンドウの [Dependency Records] リンクをクリックします。システムで依存関係レコードが有効になっていない場合、[Dependency Records Summary] ウィンドウにメッセージが表示されます。

SQL 複製情報の削除

Cisco CallManager Administration を使用している場合、サーバが削除されたら、SQL 複製情報を削除するためのスクリプト ファイルを実行します。スクリプト ファイルは、パブリッシャ サーバ用のものとサブスクリバ サーバ用のものがあります。削除する Cisco CallManager パブリッシャ サーバから RemoveServerFromDB.bat スクリプト ファイルを実行します。このスクリプ

トは、任意のディレクトリのコマンド プロンプトから実行します。

手順

次の手順を実行します。

1. パブリッシャ サーバ上の任意のディレクトリで、次のコマンドを入力します。

```
<path where you saved the script>:\RemoveServerFromDB  
"server" "database" "name_of_server_to_delete_from_ProcessNode.Name"
```

このコマンドをコマンド プロンプトから実行すると、エラーが表示されます。つまり、個別のエラー ログ ファイルは生成されません。

2. **サブスクリバ上で RemoveSubscription.bat スクリプトを実行する**：削除する Cisco CallManager サブスクリバ サーバから RemoveSubscription.bat スクリプト ファイルを実行します。このスクリプトは、任意のディレクトリのコマンド プロンプトから実行します

```
<path where you saved the  
script>:\RemoveSubscription "server" "database"
```

3. **冗長 DCD 複製許諾契約を削除する**：サブスクリバ サーバがクラスタから削除されたら、clean_publisher スクリプトを実行して、パブリッシャ DCD からその DCD 複製情報を消去します。このスクリプト ファイルは、パブリッシャ サーバ上でのみ実行されます。このスクリプトにアクセスできるのは、Cisco CallManager リリース 3.3 以降です。このスクリプトは、Cisco Directory コンポーネントのインストール時に Cisco CallManager サーバにインストールされます。パブリッシャ サーバ上の任意のディレクトリで、次のコマンドを入力します。c:\>Clean_publisher.cmdこのスクリプト ファイルでは、存在しないすべてのサブスクリバに対する複製許諾契約をパブリッシャ DCD から削除します。既存のデータを削除したり、変更したりすることはありません。注: 管理者がサーバを削除し、Clean_publisher.cmd スクリプトを実行せずに、そのサーバが削除されたクラスタと同じクラスタにそのサーバを同じホスト名で再度追加した場合、サブスクリバ DCD の設定に使用される DCD スクリプトでは、サーバへの Cisco CallManager のインストールの Directory のインストール時に、前の DCD 複製許諾契約をパブリッシャ DCD のデータベースから除去します。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)